

松下村塾の教育

内海府中学校長 和田 大二

萩藩の下級藩士であった吉田松陰は、優れた兵法学者・思想家・教育者でした。松陰の思想には先見性があったのですが、その過激な思想を危険とみた幕府により29歳の若さでこの世を去りました。しかし、彼の遺志は松下村塾の教え子たちが受け継ぎ、明治維新を断行する思想的バックボーンとなりました。作家司馬遼太郎は幕末・維新に二つ奇跡をあげています。一つは薩長同盟と大政奉還の筋道をつけた坂本龍馬の存在であり、もう一つは松下村塾の主催者吉田松陰の存在です。



松蔭肖像画

(草薙剛に似ていたとの説も)

「こういう若者が地上に存在したということじたいが、ほとんど奇跡に近い不思議というよりほかにない」と述べています。

なぜ、松陰は日本の近代化に多大な貢献をしたたくさんの偉人を輩出できたのか。松下村塾ではどのような教育がなされていたのか、大きな疑問です。松陰が松下村塾で教えた期間はきわめて短かったのです。(安政3年8月～安政5年12月)しかし、高杉晋作や久坂玄瑞をはじめとする多くの若者の生き方に大きな影響を与えました。学んだ期間は短くても、教えのなかに心を揺さぶるものがあり、学んだ者の思想や人格形成に多大な影響を及ぼす何かがあったのです。

松陰の教育は、師から弟子に講義をするものではなく、「ともに学ぶ」を基本としていました。「自分の目で見て確かめる」ことを第一とし、有言実行を心がけていました。また、その生き方においても、宮本武蔵の「我以外皆我師」を実践した人でもありました。そのような師の姿を見て門下生が育っていったのでしょう。

松下村塾の教育の特徴は次のようなものだったといわれています。

- ① 松陰の教え子には幼い者も混じっていたが、「子どもだから」という扱いはせず、青年たちと一緒に議論させました。わからないことがあってもいい。成長すれば、やがて自然にわかる時期がくる。「**雰囲気は大事で、難しいことはわかる範囲でわかればいい**」という考え方でした。
- ② 吉田松陰は、教え子を「諸友」と呼び、教師との間に身分的な上下関係や垣根を設けませんでした。「**先生も生徒も一緒になって学び合うことが、教育の基本**」と考えていました。
- ③ 「**自分以外は皆、師**」であり「**学ぶことに貪欲であれ**」と教えました。教えるだけでなく、自らそれを実践していました。
- ④ **勉強は継続することに意義がある**。松陰は20代半ばのときに獄舎で、そこにいた

囚人に孟子の講義をしたそうです。そのときの言葉を『講孟余話』という本にまとめました。そこに次のような教えがあります。「よくない勉強法とは、やったりやらなかったりすること。勉強は継続することが大事」

⑤「ほめ上手」で、子どもの「やる気」を引き出しました。松陰は、「誰にも一つや二つは得手がある」と言って、一人ひとりの子どもの「いいところ」を見つけて褒め「やる気」を引き出して隠れた才能を伸ばす教育をしました。

⑥教え子が旅立つときは、心のこもった送辞を贈って鼓舞しました。松陰が高杉晋作に送った手紙に、次の一文があります。「死して不朽の見込みあらば、いつでも死ぬべし。生きて大業の見込みあらば、いつでも生くべし。」・・・

「自分が死ぬことによって志が達成できるのなら、いつ死んでも構わない。生きていることで大きなことが実現する可能性があるのなら、生きていればよい。人の命には限りがある。若くして死のうが、年老いて死のうが関係ない。どれだけのことをやったかという満足度の問題である。」と解釈できる文です。

吉田松陰は、若者をやる気にさせる達人だったのでしょう。我々教師が参考にすべきことが多くあります。松陰の教え（松陰語録）は現在でも、多くの人々の生き方に影響を与えています。その一部を紹介します。

1 松陰座右の銘 （松陰は至誠の人とも呼ばれていました）

「至誠にして 動かざる者は 未だこれ有らざるなり」

2 松陰の教え（その1） 「親思う心にまさる親心」

3 松陰の教え（その2）

「人を信じることは、もちろん遙かに人を疑うことに勝っている。私は人を信じ過ぎる欠点があったとしても、絶対に人を疑い過ぎる欠点はないようにしたいと思う。」

4 松陰の教え（その3）

「志をもて、そして氣力を養え。ただそれだけでは学者に過ぎない。旺盛な行動力をもって行動せよ。」

5 松陰の教え（その4）

「過ちがないことではなく、過ちを改めることを重んじよ。」

6 松陰の教え（その5）

「自分の価値観で人を責めない。一つの失敗で全て否定しない。長所を見て短所を見ない。心を見て結果を見ない。そうすれば人は必ず集まってくる。」

7 松陰の教え（その6）

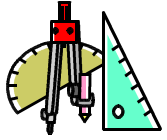
「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし、故に夢なき者に成功なし。」

特に7の教えはよく知られているところですが、否定形ではなく肯定的に置き換えるとよりやる気が増すように感じます。

夢ある者に理想あり、理想ある者に目標あり、目標ある者に実行あり、
実行ある者に成功あり、成功ある者に喜びあり。

全国標準学力検査 (NRT) の結果

1 全国平均との比較 (全国平均を50として換算) 平成27年1月実施

	全校平均 26年度	過年度との比較		
		25年度	24年度	23年度
小学校国語	52	55	51	49
小学校算数	55	53	56	49
中学校国語	53	55	52	57
中学校社会	50	49	53	54
中学校数学	50	53	52	55
中学校理科	56	52	51	54
中学校英語	52	51	54	54

(少数以下四捨五入)

2 結果の考察

(1) 小学校

個人差はあるもののほぼ基礎学力は定着している。全体的に国語の読解力をつける必要がある。読む力だけではなく、内容を把握し、それを相手にわかりやすく伝える力をつけることが課題である。

(2) 中学校国語

文章の内容を理解するのに時間がかかる傾向が見られる。

(3) 中学校社会

地理的分野の定着はよいのだが、古代から中世(日本史)までの歴史分野の定着(暗記部分)にやや課題がある。

(4) 中学校数学

資料の活用(表から式を作ったり、グラフを書く)などの応用力がやや弱い。

(5) 中学校理科

基礎学力は定着しているものの、科学的思考力に課題がある生徒も見られる。

(6) 中学校英語

基礎的な力はあるが、聞くことや話すことを苦手としている生徒もいる。



新年度 4月の行事予定



日	曜	学校行事・PTA関係等	小学校	中学校
1	水	転入職員挨拶回り 安全点検		
2	木	職員会議AMP	職員会議AM	職員会議PM
3	金	入学式準備9:00～		
4	土			
5	日	春の交通安全運動～15日まで		
6	月	新任式・始業式・ 入学式		
7	火		地域子ども会	
8	水	身体測定(聴力・視力)	巡回図書入替委員会①	
9	木		生活朝会 全校音楽	知能検査1年のみ
10	金			生徒会オリエンテーション
11	土			
12	日			
13	月			2・3年修学旅行①
14	火		ぎょう虫検査	2・3年修学旅行② 1年島内探訪
15	水		佐小研総集会	2・3年修学旅行③
16	木		児童朝会(1年生を迎える会)	
17	金			
18	土			
19	日	カンゾウ定植ボランティア〔予定〕		
20	月	お花見給食〔予定〕		
21	火	全国学力・学習状況調査 心臓検診13:00～		
22	水	尿検査委一次希望②	クラブ① 職員会議	専門委員会①
23	木	尿検査一次希望①	生活朝会 交通安全教室	
24	金	学習参観 学級懇談会 PTA総会・歓迎会		
25	土			
26	日	佐渡トキマラソン		
27	月		山菜採り①(予定)	
28	火	家庭訪問15:00～		
29	水	昭和の日		全佐渡卓球選手権
30	木		山菜採り②(予定)	